

---

# 高校探究科

## No. 07 (K3)

---

年		組		番		名前	
---	--	---	--	---	--	----	--

## 0. 卒業論文の流れ

### 1. 課題

- ・高校3年間の探究科の授業で身に着けた知識・学びのスキルをもとに卒業論文を書こう
- ・国際社会・日本社会の問題についてSDGSを意識しながら自分でテーマを設定する

### 2. 卒業論文の説明

- ・論文とは自分の問いに対して、客観的な根拠をもとに答えを導き、自分の意見を書くものです。
- ・論文の制作は高校3年生の探究科の時間を1年間使っていきます。
- ・目標とする量は Word A4 2枚以上(2880字) です。図や表も使ってください。

### 3. 卒業論文の手順

高2 3学期後半	・テーマ(問い)の検討・決定
↓	↓
高3 1学期前半	・テーマについてレジュメ作成・発表
↓	↓
高3 1学期後半	・論文1次原稿制作・完成
↓	↓ ※指導教員による論文チェック・指導
高3 2学期前半	・論文最終原稿制作・完成 ←今ここ
↓	↓ ※指導教員による論文チェック・指導
高3 2学期後半	・論文内容についてポスター制作・最終発表会実施
↓	↓
高3 3学期	・論文相互評価・論文集印刷

### 4. 論文の基本的な構成

仮説：牛乳を飲むと背は伸びるのか？

テーマ	疑問や仮説をあげる	仮説：牛乳を飲むと背は伸びるのか？
はじめに	この疑問や仮説を選んだ理由を述べる	私がこのテーマを選んだ理由は、牛乳を飲んでいる人でも背が伸びていないケースがあると感じるからである。牛乳を飲むと一般的には背が伸びるのかについて、調べ検証したい
調査	疑問の答えにつながる客観的事実を調べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般に牛乳を飲むと背が伸びると言われるのはなぜか？</li> <li>・この仮説・疑問について先に調べた人は何と言っているのか？</li> <li>・背が伸びるためには何が必要か</li> <li>・背が伸びるため必要な栄養・物質は何か</li> <li>・牛乳の成分に背が伸びるのに有効な成分はあるか？</li> </ul>
考察	調査した内容から言えること・分析を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまでの調査から背を伸ばすには・・・が有効とわかった</li> <li>・牛乳には・・・が含まれ、背を伸ばす効果があることも分かる。</li> </ul>
結論	疑問の答えを書く	<p><b>結論：牛乳を飲むと背は伸びる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由は2点ある。1点目は背が伸びるためには・・・が有効であるからである。・・・(説明)・・・。2点目は牛乳の中には背が伸びるのに有効な・・・が多く含まれているからである・・・(説明)・・・。</li> <li>ゆえに牛乳には背を伸ばす効果が大きいと言える。</li> <li>・しかし背が伸びるのには・・・も重要な要素であり、牛乳は背を伸ばすには有効であるが、・・・も必要と言える。</li> </ul>

# 1. 論文をポスターにまとめよう

STEP1 完成した論文の用紙を1枚のポスターにまとめよう (1.5時間)

【ポスター見本】

**世界のどの国がCO2を排出しているのか? (P136)**

K2A ○○ △△

1. はじめに。  
地球温暖化が世界の話題になっていて、日本でも集中豪雨など影響があると言われます。温暖化の原因はCO2の排出とされているので、どの国がどれくらい排出しているか調べました。

2. 温暖化の現状。  
(1) 地域別排出量。

アジア	147億 9836万 t.
北米	57億 357万 t.
ヨーロッパ	36億 5999万 t.
CIS	23億 8638万 t.
中東	19億 4805万 t.
中南米	16億 7739万 t.
アフリカ	11億 6636万 t.
オセアニア	4億 2098万 t.
世界計	317億 6107万 t.

・人口の多いアジアが世界の排出量の半分!.

(2) 国別排出量。

1位 中国	89億 4764万 t.
2位 アメリカ	51億 6041万 t.
3位 インド	21億 6595万 t.
4位 ロシア	16億 1967万 t.
5位 日本	11億 3173万 t.

・日本は世界5位の排出国=責任大!.

(3) 排出を防ぐしくみ。

①気候変動枠組み条約(1992採択 1994発効)  
・温暖化防止のために待機中の温室効果ガスを削減することを目的とする条約。

②京都議定書(1997採択 2005発効)  
・先進国のみ削減目標あり。  
・2012年までに1990年比5%削減。

③パリ協定(2015採択 2016発効)  
・途上国見含めすべての国が削減責任を負う。  
・先進国だけでなく途上国も巻き込んだ枠組みがパリ協定でできた。

3. まとめ。  
・温暖化の原因となるCO2の多くをアジア・先進国が出していることがわかった。  
・日本も排出量でいえば世界5位であり、その責任は大きいと言える。  
・世界では気候変動枠組み条約以降、削減のための約束が行われ、2015年のパリ協定は途上国や中国・アメリカも巻き込んだ協定が完成した。

参考文献。  
・「今がわかる時代がわかる世界地図 201」成美堂出版(2017)。  
・「全国地球温暖化防止活動推進センター (http://www.jccca.org)」2018.4.10確認。

タイトルは疑問形にして目的を明確に+

はじめにでは、そのテーマを調べようと思った理由・知りたいことを書こう!+

次に調べたことを書いていこう。文章ではなくポイント・見出しを箇条書きで書いていこう+

表や流れ図を使って整理すると読みやすい+

小見出しをつけて整理すると読みやすい+ その時は(1)など番号をふっていこう+

調べたときに感じたこと・思ったこと。疑問など自分の意見はここで書こう!+

最後に調べるのに使った本やWEBサイトは書いておこう。+

Webは確認日も書く+

※調べたことは図表や流れ図にするなど、一目でわかるように工夫しよう  
※テーマや結論が視覚的にはっきりわかるよう色分けなども行おう

## 2. ポスターセッションの準備をしよう

STEP1 次回のポスターセッションに向けて (0.5 時間)、原稿を準備しよう。

☞それぞれ箇条書きで2～3行程度、中心となる内容を原稿としてメモする。

テーマ	
-----	--



はじめに	
------	--



調査①	
-----	--



調査②	
-----	--



考察	
----	--



まとめ	
-----	--